

第1学年2組 国語科学習指導案

指導者 矢野 翔太郎

単元「げきあそびをしておはなしをたのしもう」～よんで・うごいて・みて・はなして～

本単元の目標

- ◎ 「劇遊び」を通して、場面の様子に着目し、登場人物の行動や会話を具体的に想像するために表情、口調、動きの視点で場面の空所を演じたり、行動の理由を話し合ったりすることができる。

本単元の考え方

- 本単元では、「劇遊び」を通して、場面の様子に着目し、登場人物の行動や会話を具体的に想像することをねらいとしている。具体的には、①叙述を基に、登場人物について表情・口調・様子などを具体的に想像すること、②友達とともに演じ、場面の様子を捉えること、③物語の空所を読む楽しさに気付く等、物語を読むことに対する考えの変容を自覚する。本単元では、言語活動に「劇遊び」を位置付けている。このことは、関わりの中で伝え合う力を高め、文章の内容を理解し、具体的に想像する力を養う上で価値がある。
- 本学級の子供たちは、「C読むこと」の領域において場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む学びを積み上げてきた。「音読劇をしてお話を楽しもう『くじらぐも』」の学習では、登場人物と自分を重ねて物語を読むことができた。一方で、場面に描かれていない時間の流れや物語の空所に着目して想像するまでには至っていない。そこで、言語活動に「劇遊び」を位置付け、物語の空所における登場人物の表情、口調、様子を具体的に想像できるようにしたい。このことは、物語を読む学習において読む着眼を広げたり、場面と場面をつないで想像をしたりする資質・能力の発揮につながるものと考えられる。
- 本単元の導入段階では、『たぬきの糸車』を読んだ感想を基に、好きな場面を選んで劇遊びをする。そこで生まれる「もっと劇遊びをしてお話を楽しみたい」という思いから単元の目標を設定する。展開段階では、劇遊びを繰り返し楽しむ中で、「叙述を基に、登場人物の行動や会話を想像すること、書かれている言葉から、書かれていないことを想像すること」、「表情、口調、動き、行動の理由を共有すること」を気付きとして蓄積し、読み進めていく。最後に、終末段階では、言葉に着目して物語を読むよさを実感するために、昔話コーナーにある物語を選んで読み、場面の空所を想像する劇遊びの場を設定する。そうすることで、登場人物の行動を具体的に想像するための着眼を体験的に捉えることができると考える。

学びの文脈

《学問的・文化的側面》

物語を演じて楽しみたいという思いを、学習で劇遊びを通して追究し、物語の空所について、登場人物になりきって想像する楽しさを捉えることができるような文脈をつくっていく。

単元計画（全9時間）

単元における活動・内容・手立て	
1	『たぬきの糸車』を読み、劇遊びを通して気付いたことを基に、単元の計画を話し合う。 1 ○ 昔話や民話に興味をもち、劇遊びをするという単元の見通しをもつこと ※ 劇遊びを楽しむ着眼や学習の見通しをもつために、既習の物語で得た「行動」「会話」等の着眼を提示する。
劇遊びっておもしろいな。もっと楽しくしたいな。	
2	各場面において劇遊びをして想像した人物の表情・口調・様子等を話し合う。 6 (1) 「たぬき」や「おかみさん」の様子や、行動の理由を、劇遊びを通して話し合う。④ ○ 登場人物の行動等を基に、物語の登場人物や主な出来事、結末等のおもしろさを捉えること ※ 登場人物の行動や、会話を基に「動き」や「台詞」等、劇遊びの演じ方を話し合う場を設定する。
文に書かれていないところも劇遊びしたいな。	
	(2) 登場人物、出来事、結末の叙述を基に、物語の空所について劇遊びをする。② 本時 2/2 ○ 登場人物の行動について、表情・口調・様子を具体的に想像すること ※ 「行動のみの劇遊び」「独り言と心内語による劇遊び」等、演じ方を選択する場を設定する。
<pre>graph TD; A[劇遊びに向かう児童の目的意識の変容] --> B[劇遊び自体の楽しさ]; B --> C[会話や行動を工夫することの楽しさ]; C --> D[登場人物の会話や行動の理由の追究]; D --> E[物語の空所の追究];</pre>	
3	他の物語でも劇遊びを楽しみ、想像して読むための着眼を話し合う。 2 ○ 空所の場面の様子や、行動の理由に着眼すること

本単元における言葉による見方・考え方

劇遊びで演じた動きや表情、話し方等と行動や会話の叙述をつないで具体的に想像する等、場面の様子や登場人物の行動の理由を捉えたり問い直したりすること

本時の目標

- 物語の内容の大体を捉えたことを基に、冬の間のためきが何をしていたかを想像し、劇遊びを通して、表情や口調、行動を表現したり、行動の理由を説明したりすることができる。

本時の学習過程（7 / 9 時）

学習活動・内容・予想される子供の反応	手立て										
<p>1 冬の間のためきの行動について、劇遊びをして考えるという本時学習のめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物の行動や会話、場面の様子に着目して劇遊びに取り入れようとする <p>・ 冬の始まりと終わりのためきの行動を比べて劇をしたいです。 ・ お話ではためきの会話は無いから動きだけで劇遊びをしたいね。</p> <p>物語に書かれていない冬の場面のためきのようすを劇遊びしよう。</p> <p>2 場面の様子、行動、会話、といった視点を基に冬の間劇遊びをして、想像したことを話し合う。</p> <p>(1) 冬の間のためきの様子について、前後の場面の様子や時間の経過を基に考え、劇遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物の表情や口調、行動の理由を具体的に捉えること <p>・ だれもいなくなったな。「糸車」にさわってみよう。 ・ やっぱり「糸車」って楽しいな。もっと回してみよう。 ・ キークルクル、キークルクル、たくさん回して糸を作ろう。</p> <p>(2) 想像した冬の間のためきの行動や会話を基に、ためきの行動の理由について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 冬の間のためきの行動や会話から、行動の理由を具体的に想像すること <p>・ ずっと見ていた糸車に触れて、嬉しかったと思います。 ・ ずっと、触れたので、どんどん上手になっていったのだと思います。 ・ おかみさんをよく見ていたから、糸の置き方も真似できたと思います。 ・ 恩返しのためと、自分が楽しいと感じていたことがあると思います。</p>	<p>※ 物語の空所を演じる意欲を高めることができるようにするために、冬の場面の無い『ためきの糸車』を提示する。</p> <p>※ ためきの行動を想像することができるようにするために、冬の場面を分けて、劇遊びができる場を設定する。</p> <p>※ 冬のためきの行動の理由を想像することができるようにするために、おかみさんと糸車を回すキークラキークルクルの音が変わらない理由を問う。</p>										
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="252 1323 497 1361">劇遊びへの仮説</th> <th data-bbox="497 1323 1043 1361">「冬の始め」「冬の終わり」を分けて追究</th> <th data-bbox="1043 1323 1295 1361">行動の理由を説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="252 1361 497 1713"> <p>・ 冬の間ためきがしていたことを、動きだけで表してみよう。</p> <p>行動のみによる劇遊び</p> <p>・ 冬の間ためきがしていたことを、会話と行動で表してみよう。</p> <p>行動・会話による劇遊び</p> </td> <td data-bbox="497 1361 1043 1713"> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="564 1375 737 1413">冬の始め</th> <th data-bbox="737 1375 973 1413">冬の終わり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="564 1413 737 1713"> <ul style="list-style-type: none"> ・ そと家に入ってみよう。 ・ 糸車をにこにこして回そう。 <p>人物の行動・会話、時、場、語り手の視点、→表情、口調、様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家に誰もいなくなっている。糸車を好きにだけ回すことができるぞ。」 </td> <td data-bbox="737 1413 973 1713"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上手に回そう。 ・ 真剣な顔になって回そう。 <p>○ 「糸をたくさんまいていたら、どんな顔をするのかな。驚くかな。それとも、喜んでくれるかな。」</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">○ 行動の理由の話し合い</p> </td> <td data-bbox="1043 1361 1295 1713"> <ul style="list-style-type: none"> ・ ためきは、最初、回すことが楽しかったと思うな。理由は、おかみさんの糸車を回す様子を何日も見て真似していたからです。 ・ ずっと回していたら、どんどん糸車をつかうのが上手になっていったと思います。助けてもらったお礼もしたかっと思います。 </td> </tr> </tbody> </table>		劇遊びへの仮説	「冬の始め」「冬の終わり」を分けて追究	行動の理由を説明	<p>・ 冬の間ためきがしていたことを、動きだけで表してみよう。</p> <p>行動のみによる劇遊び</p> <p>・ 冬の間ためきがしていたことを、会話と行動で表してみよう。</p> <p>行動・会話による劇遊び</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="564 1375 737 1413">冬の始め</th> <th data-bbox="737 1375 973 1413">冬の終わり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="564 1413 737 1713"> <ul style="list-style-type: none"> ・ そと家に入ってみよう。 ・ 糸車をにこにこして回そう。 <p>人物の行動・会話、時、場、語り手の視点、→表情、口調、様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家に誰もいなくなっている。糸車を好きにだけ回すことができるぞ。」 </td> <td data-bbox="737 1413 973 1713"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上手に回そう。 ・ 真剣な顔になって回そう。 <p>○ 「糸をたくさんまいていたら、どんな顔をするのかな。驚くかな。それとも、喜んでくれるかな。」</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">○ 行動の理由の話し合い</p>	冬の始め	冬の終わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ そと家に入ってみよう。 ・ 糸車をにこにこして回そう。 <p>人物の行動・会話、時、場、語り手の視点、→表情、口調、様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家に誰もいなくなっている。糸車を好きにだけ回すことができるぞ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上手に回そう。 ・ 真剣な顔になって回そう。 <p>○ 「糸をたくさんまいていたら、どんな顔をするのかな。驚くかな。それとも、喜んでくれるかな。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ためきは、最初、回すことが楽しかったと思うな。理由は、おかみさんの糸車を回す様子を何日も見て真似していたからです。 ・ ずっと回していたら、どんどん糸車をつかうのが上手になっていったと思います。助けてもらったお礼もしたかっと思います。
劇遊びへの仮説	「冬の始め」「冬の終わり」を分けて追究	行動の理由を説明									
<p>・ 冬の間ためきがしていたことを、動きだけで表してみよう。</p> <p>行動のみによる劇遊び</p> <p>・ 冬の間ためきがしていたことを、会話と行動で表してみよう。</p> <p>行動・会話による劇遊び</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="564 1375 737 1413">冬の始め</th> <th data-bbox="737 1375 973 1413">冬の終わり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="564 1413 737 1713"> <ul style="list-style-type: none"> ・ そと家に入ってみよう。 ・ 糸車をにこにこして回そう。 <p>人物の行動・会話、時、場、語り手の視点、→表情、口調、様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家に誰もいなくなっている。糸車を好きにだけ回すことができるぞ。」 </td> <td data-bbox="737 1413 973 1713"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上手に回そう。 ・ 真剣な顔になって回そう。 <p>○ 「糸をたくさんまいていたら、どんな顔をするのかな。驚くかな。それとも、喜んでくれるかな。」</p> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">○ 行動の理由の話し合い</p>	冬の始め	冬の終わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ そと家に入ってみよう。 ・ 糸車をにこにこして回そう。 <p>人物の行動・会話、時、場、語り手の視点、→表情、口調、様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家に誰もいなくなっている。糸車を好きにだけ回すことができるぞ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上手に回そう。 ・ 真剣な顔になって回そう。 <p>○ 「糸をたくさんまいていたら、どんな顔をするのかな。驚くかな。それとも、喜んでくれるかな。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ためきは、最初、回すことが楽しかったと思うな。理由は、おかみさんの糸車を回す様子を何日も見て真似していたからです。 ・ ずっと回していたら、どんどん糸車をつかうのが上手になっていったと思います。助けてもらったお礼もしたかっと思います。 					
冬の始め	冬の終わり										
<ul style="list-style-type: none"> ・ そと家に入ってみよう。 ・ 糸車をにこにこして回そう。 <p>人物の行動・会話、時、場、語り手の視点、→表情、口調、様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家に誰もいなくなっている。糸車を好きにだけ回すことができるぞ。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上手に回そう。 ・ 真剣な顔になって回そう。 <p>○ 「糸をたくさんまいていたら、どんな顔をするのかな。驚くかな。それとも、喜んでくれるかな。」</p>										
<p>3 物語の空所の劇遊びを通して感じた読む楽しさを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 物語の空所を読む楽しさや、言葉のおもしろさに気付くこと <p>・ 文章に書いていないことでも、「したこと」や「はなしたこと」の言葉をよく読んで、楽しかった。 ・ お話の場面を比べて人物の動きや話し方を劇遊びにしてみると、物語をくわしく想像することができた。</p>	<p>※ 物語を読んだ視点を整理できるようにするために、「行動」「会話」等、観点カードを提示する。</p>										

【本時求める子供の姿】

☆ 登場人物になりきったり、場面の様子を伝え合ったりすることで、物語の空所における登場人物の行動を具体的に想像しながら読むことができる。